

「乳がん術後連携パス」

1. かかりつけ医の先生の診療

診療時には患者さんが「乳がん術後連携パス」（患者用手帳）に、自己チェックや日常の健康管理で気になる事があれば記入して持参されます。気になる所はかかりつけ医の先生と相談するようにお伝えしておりますので、診療時には、投薬と可能な範囲での検査等をお願いします。

2. 市立東大阪医療センター受診の前に

市立東大阪医療センター定期受診前の診療時には、可能であれば診療情報提供書を記載していただき、患者さんにお渡し頂くか原本をご郵送頂けますと幸いです。

3. バリエーションと対処法

バリエーション		対処法
再発が疑われるとき	症状や所見上疑われるとき	市立東大阪医療センター乳腺外来を受診
患側上肢の炎症	炎症の治療	抗炎症剤、消炎鎮痛剤の内服 安静
	上記の治療が無効のとき	直近の乳腺外科受診
内服薬（内分泌治療薬）による副作用	肝機能障害	2～4週間休薬後、肝機能を再検し、改善されていれば再開 改善しないときは、乳腺外科受診
	不正出血	産婦人科受診 異常がなければ内服継続
	高脂血症・体重増加	生活改善 改善しないときは、高脂血症治療剤の内服等

4. その他

- ・ 投薬については、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしております
- ・ 投薬間隔は1～3ヶ月毎（かかりつけ医の先生のご判断）でお願いします
- ・ 副作用等が疑われるときは、先生のご判断で適宜、投薬の中止・再開をしていただいで結構です
- ・ 投薬終了後の通院間隔はかかりつけ医の先生のご判断でお願いします
- ・ 市立東大阪医療センターでの定期受診は10年目までとしています
- ・ 定期受診日以外でも必要があれば市立東大阪医療センターの受診を患者さんに案内してください。